

持明院「はすの会」事務局

〒530-0001

大阪市北区梅田1-3-1

大阪駅前第一ビル9階

株式会社高野山寺月会

電話：06-6348-0530

FAX：06-6348-0170

メール：renaku@hasunokai.jp

HP：www.hasunokai.jp

はすの会 会報 No.48

平成26年(2014年)8月20日発行
平成8年(1996年)3月1日初版発行



いざ 大師のお山 高野山へ

標高九百メートルを超え、

『八葉の蓮華台』に包まれる深山幽谷の高野山、間もなく開創されて千二百年の記念の年を迎えます。

私たちは、開創以来、今も尚奥之院の御廟に入定留身され、永遠に、われわれ一切衆生の願いを聞き入れ、幸せを祈り続けておられるお大師さまへの報恩謝徳の心と行為をもって、この行事を迎え、参加したいと願っています。

それはまた、同時にお大師さまへの現世における救済を願い、ご利益りやくをお祈りする信仰（崇敬）でもあるのです。

記念大法会を初めあらゆる行事に参加するすべての人々が、日常の不安や心配から解放され、心が癒いされ、活力が生まれ、充

実感に満ちた日々を等しくお大師さまから約束されています。

いま、高野山は、檀信徒はもとより一般の人たちも誘いざなえるよう全山を上げて取り組んでいます。

記念大法会に向けての目玉事業の一つである中門も再建され、百七十二年ぶりに全ての堂宇が整った壇上伽藍を見ることができそうです。

登山者には千二百年記念を機に、高野山からは、聖地としての霊的な魅力を、そしてお大師さまからは宗教的な不思議な力、大いなる力を受けとめてください。

私たちは「南無大師返照金剛」なむだいにんげんじょうこんごうのご宝号を心真言とし、共にお大師さま行願にお応えする道を歩んでまいりましょう。



諸行無常

暑さもようやく峠を越したよう
で朝夕はすっかり凌ぎやすくなり
ました。

山上での生活は、時の移ろいや
自然の変化など一入身に染みて感
じます。「諸行無常」のことばは、
よく見聞きしますが、『平家物語』
冒頭の句「祇園精舎の鐘の聲、諸
行無常の響きあり」が有名で、こ
の世のものは、すべて不変のもの
はない、と解しますが、佛教では
「私たちの認識しているあらゆる
ものは、直接的、間接的なさまざ
まな原因(因縁)が働くことによつ
て、現在たまたまそのように作り
出され、現象しているに過ぎない。
またそれらの現象も時の推移と共
に移り変わってゆく。」その理法
を『諸行無常』といます。
人は誰もが「いつかは死ぬ」と
頭ではわかっていても、自分のこ
ととして、また今日や明日のこと

として考えられないのが人の世の
常です。しかし無常＝変化を伝える
の使者は、私たちの心や体にも、
確実に、そして公平に訪れてくる
ものです。

「くどくなる気短になる

愚痴になる 出しゃばりたがる

世話やきたがる」

江戸期のある和尚が、老人の内
面の特徴を詠んだものです。

私たちは心安らかに、愛され
る人として、生活してまいりま
しょう。

合掌



別格本山持明院 住職・竹内崇雄

お墓 新景

去る七月十六日の日経新聞に、
「先祖代々、守れますか」の見出し
で、先祖の墓を守り続けるため人
の手を借りるのが当たり前の風
景になり、墓参りと掃除の代行ビ
ジネスが定着し、さらに広がりつ
つありますが、一方都市も含め、
各地の墓地で放置され、荒れ果て
る墓が目立つてきているのも現実
です。

こうした時代の到来を予測さ
れ、二十数年前名利持明院の佛舎
利宝塔における永代供養が生まれ
ました。

どなたの供養がただけなくて
も持明院は、日々欠かすことなく
ご先祖の供養と皆様の浄福をお祈
りしています。また高野山寺月会
(はずの会)では、供養墓の保守管
理と日々の清掃を行っています。

今後共一層努めて参りますので
暖かいご意見・ご教示をお待ち申

し上げます。

—はずの会事務局—



このたび、仏舎利宝塔入り口の
手水舎を修繕工事いたしました。
これにより水の出もよくなり、
御手や仏具をさらに洗いやすく
なつたと思います。



(滅菌処理をしていませんので口には含まないようお願いします)

今後はほかにも修繕を予定して
おり皆様にはご迷惑をおかけいた
しますが、何卒ご理解のほどよろ
しくお願い申し上げます。

★ 会員便り



『アメリカから納骨に来ました』

仏舍利宝塔には大勢のお客様が奉納されておりますが、その中には外国の方のお名前もいくつかあります。

今回ご紹介する「セツコ・マナベ・ロディス (Seisuko Manabe Roddis)」様は日本生まれの方ですが、アメリカで嫁がれてアメリカの国籍となられておりました。

しかし昨年そのセツコ様がお亡くなりになったとき(享年76歳)、「日本が懐か



しい、死んだあととは若い頃よく行っていた高野山に納骨をして欲しい」と生前から強く願っていたことから、その願いをかなえるため、このたび娘様ご一家と息子様ははるばるアメリカから遺骨を持って高野山までお越しになりました。

以下はスタッフが英語で会話をした時の模様です。

Q. 本日はどなたがお越しになりましたか？

A. ポストンから娘のグレイス一家とミネアポリスから息子のトーマスが来ました。

Q. どうやって「はすの会」を知りましたか？

A. きっかけは「仏舍利宝塔」の英語版のホームページでしたが、申し込みは日本にいる母の姉(自分たちから見て伯母)に手伝ってもらいました。

Q. 高野山を選んだ理由は？

A. 母のたつての願いでした。生前より「死んだら高野山に骨を納めてほしい」とずっと言われておりました。

Q. 皆さん日本は初めてですか？

A. 娘と息子は何度か来たことがあります。高野山は初めてです。また、孫にあたる娘の子供達は今回が初めての日本です。

Q. 高野山の感想は？

A. 本日は雨で少し残念でしたが、それでもとても美しいです。お墓がたくさんあるのに驚いています。

Q. 法要はいかがでしたか？

A. とても古風で素晴らしく、お坊さんからは威厳を感じました。

Q. 最後に何か一言お願いします。

A. このような素晴らしい場所でも眠ることができ、とても喜んでいと思います。またいつか家族みんなで来たいと思います。本日はありがとうございました。

まったく日本語が通じない中、スタッフの頼りない英語でもお互いに気持ちに通じあい本当によかったです。お孫さんたちもまだ高校生から小学生とのことでしたので、将来お墓参りに来られるときを楽しみにお待ちしております。

編集後記

今回の会報はいかがでしたでしょうか。事務局ではご意見、ご感想、投稿記事を募集しております。

ホームページには紙面の都合で載せられなかった各スタッフの編集後記も掲載しております。あわせてご覧ください。

<http://www.hasunokai.jp/>

秋季合同法要のご案内

暑い日が続きますが、さわやかな高野山の秋風はいかがでしょう。今年も皆様ぜひお参りにお越しください。



日時

平成26年9月28日(日)

12時30分～13時10分頃

(法要時間約40分・集合12時15分)

場所

持明院・本堂

(和歌山県伊都郡高野町高野山455)

法要料(参加費)

無料

(ご希望によりお布施は受け付けております)

ご参加

自由・予約不要

佛舍利宝塔の参拝時間

10時～15時30分まで

●法要の前後に仏舍利宝塔の参拝もできます。

●ご親族だけでなく、ご友人などもご参加いただけます。

●当日は12時30分ちょうどから始まりますので、15分前までにお越しください。

●持明院には駐車場がありますが、台数に限りがございますので、できるだけ電車・バスでお越しください。

南海電鉄の特急(こうや号)は、一ヶ月前から予約できます。

●高野山は山下より温度が下がりますので、冷えやすい方は念のため羽織るものをご持参下さい。

●持明院でご昼食をご希望される場合は、ご予約が必要です。

お一人様2,160円(精進料理)お子様ランチも同じ値段です。

●持明院は宿坊もしております。どうぞご利用下さい。

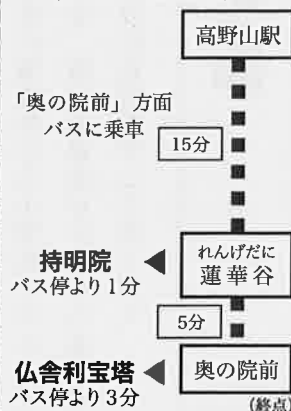
宿泊・大人一名8,640円

(一泊二食付き)

南海電鉄 時刻表(3月～11月 土日祝専用)

行き	難波発 高野山駅着		
		8:13	10:08
帰	8:36	10:22	
	特急3号	9:00	10:35
	9:02	10:51	
	9:24	11:07	
	特急5号	10:00	11:35
	10:02	11:53	
り	10:24	12:09	
	高野山駅発	難波着	
	13:32	15:23	
	14:04	16:02	
	14:37	16:23	
	15:03	17:02	
り	特急10号	15:19	16:50
	15:45	17:35	
	特急12号	16:20	17:50
	16:33	18:23	

高野山駅からは
バスで約15分
(タクシーで約10分)



●お車の場合●

橋本市内まで来てから京奈和自動車道に「橋本」ICから乗り、「紀北かつらぎ」ICまで行きます。

その後24号線を約1kmほど進み480号線に乗るとそのまま高野山までつながります。

※2014年9月現在、京奈和自動車道は全線開通していないため上記区間は無料で利用できます。

